

# 校訓 『高く 大きく 美しく』

## 教育目標

「誇り高く 夢大きく 心ころ美しく  
よりよい社会を創ろうとする生徒の育成」

中村中学校 学校通信 NO.19 2023.1.30 発行 TEL 0880-34-4137 : 文責 山崎利彦

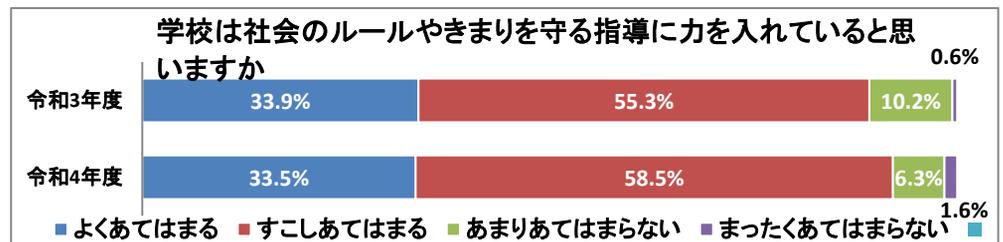
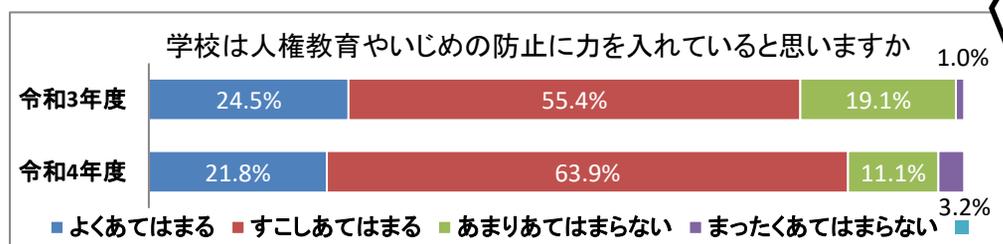
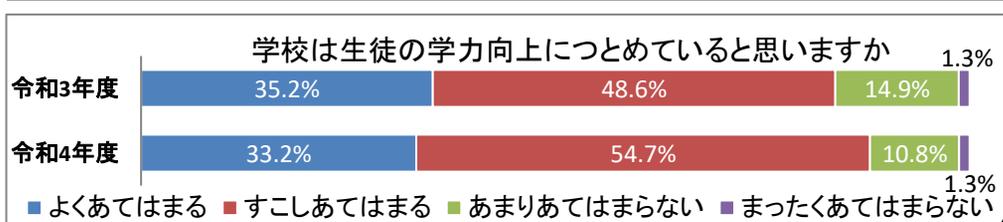
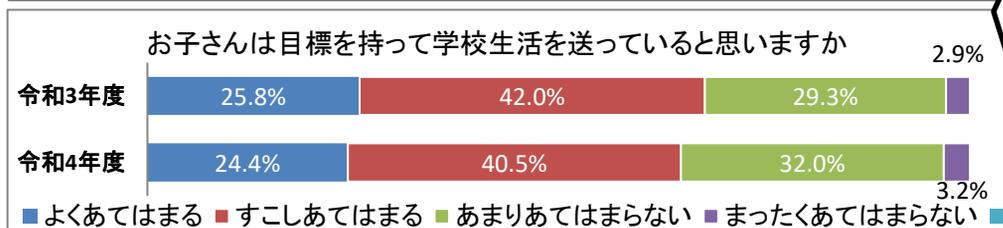
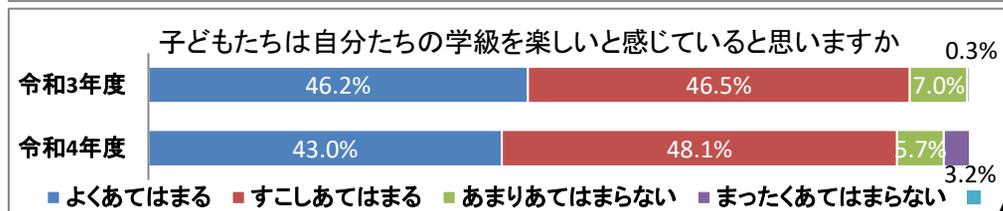
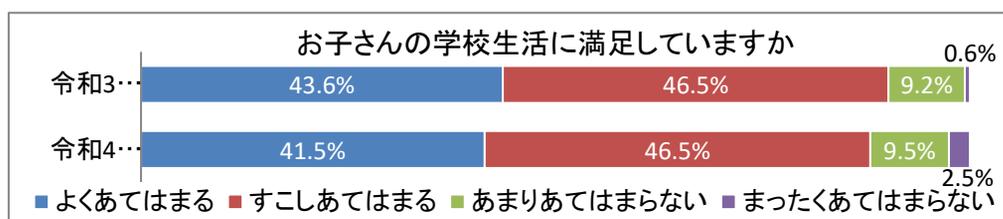
### 学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました！

1月が早くも終わります。明日から中3生は公立高校のA日程の出願です。それぞれの進路実現に向けて、日々の授業を大切に2月も頑張ってください。

さて、保護者の方にご協力いただいた学校評価アンケートの集計結果をお知らせします。今年度は、初めてタブレットでの回答という形をとってみました。(集計はとても早かったです) WEB上での回答は回答率が下がりますが、保護者のご協力のおかげで最終的に約80%ほどの回答率となりました。

例年、このようなアンケートを実施するのは、学校の教育活動を内部(教員)の視点だけでなく、外部(保護者等)の視点からもとらえ、学校をよりよく改善していくためです。そのような点で、貴重なご意見もたくさんいただきました。全ては紹介できませんが、改善すべきことや次年度につなげたい内容は下に紹介しますので、今後ともよろしくお願いいたします。

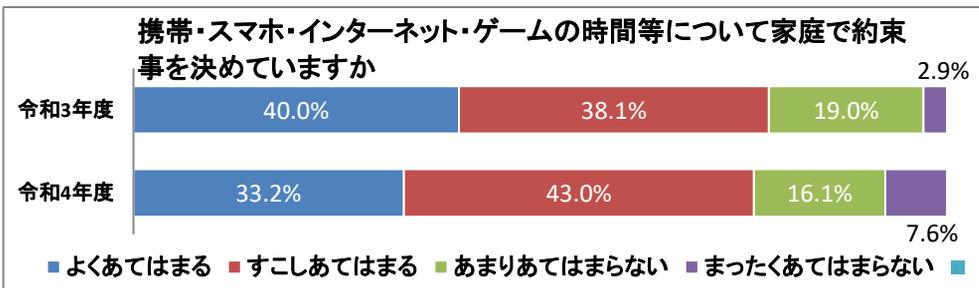
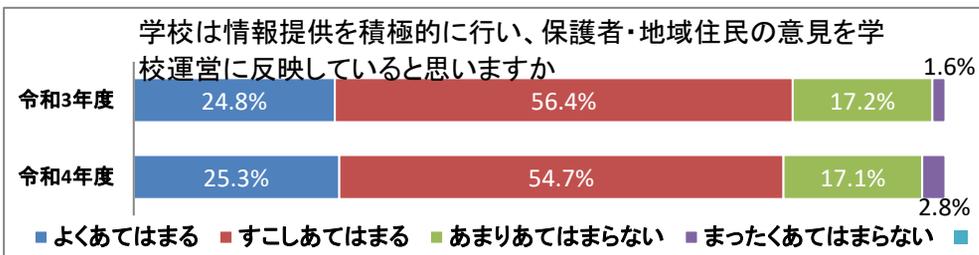
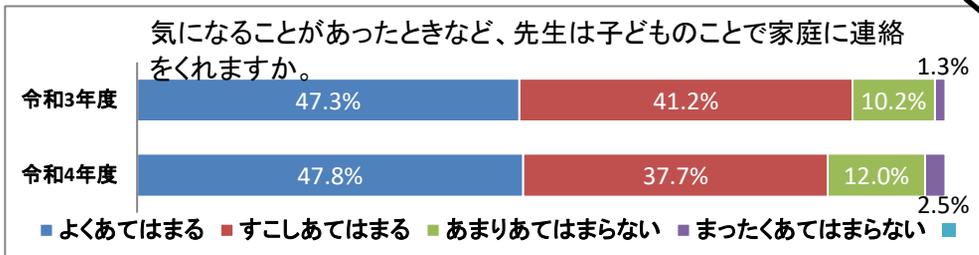
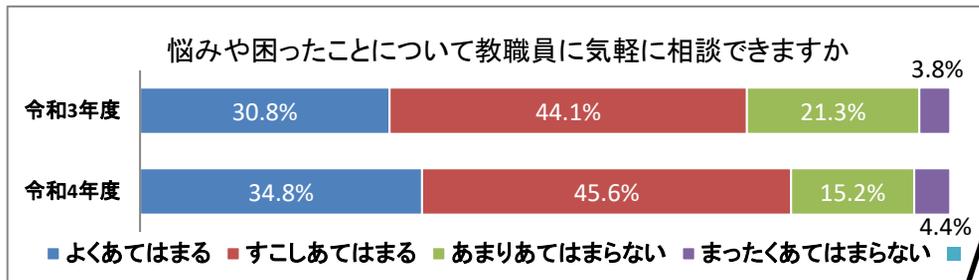
#### 【保護者の方の集計より】



どの保護者も満足感のある学校生活を送ってほしい！という思いを持たれ、子どもさんを学校へ送り出していることと思います。約90%の方が、「学校生活に満足」「学級を楽しみ」と肯定的にとらえていますが、やや、積極的な肯定が低くなっていることが課題と感じました。また、「目標のある学校生活」については、保護者の目からみて約3割ほどが、自分の子どもは目標がないのでは？と感じられています。進路を意識する3年生になれば、この数値が高くなりますが、勉強でもスポーツでも芸術でもいい、生徒が何らかの目標をもって学校生活を送ることができるよう、教育活動の充実にあたりたいと思います。生徒は一人一人よさを持っているので、生徒の良さを伸ばしていけるよう一緒に取り組みたいです。今後ともご協力ください。

学力向上や人権教育、社会規範としてのルールの順守等、学校の取組は昨年度より肯定的な評価が高くなっています。今後も継続して「人(友達)を大切にすること」を基盤に「わかる授業づくり」に取り組んでいきたいと思っています。

私たち教職員は、授業のあり方という点では、他校を牽引する意識で取り組んでいますが、生徒にきちんと力をつける点ではまだまだ不十分だと考えています。本校は、幡多郡内で最も多くの生徒が在籍する学校です。生徒にも「一緒にいい授業を創り上げよう」という意識を高め、責任ある教育活動を進めていきたいと思っています。



保護者の方への対応や学校の情報提供、学校運営についての意見の反映についてです。

**教職員の相談**については、昨年度より肯定的評価が上がっていることは、学校の対応が一定評価されていると考えます。一方で、何かあった時、家庭への連絡は各担任が気が付けていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

自由意見からは、ずいぶん学級担任の対応に感謝のご意見もいただいておりますが、コロナ禍の中で、保護者の方と一緒に活動することが減少し、関係性が薄くなっているのかもしれない。**各教員、保護者の相談には誠実に対応していきたいと考えています**ので、ぜひ気軽に相談ください。

情報発信については、**学校HPの充実に**努めたいと思っております。

SNSの活用の中で、保護者の方に協力いただきたいことがあります。生徒に携帯等を持たせるかどうかは、保護者の判断です。ぜひ、**使用するうえでのルールを家庭で話し合ってください**。便利なツールである反面、**生徒間のトラブルやゲーム等に没頭する事例**が多くあります。ご理解をお願いします。

～保護者のご意見から～ ☆担任の対応への温かい返信も多くいただいております。ありがとうございました。

※学校に寄せられた意見の中から、いくつかを紹介します。学校も対応を考えていきたいと思っております。

○タブレット使用時間やアプリ使用時間について、自分でコントロールできるように使用時間を把握できないか。

⇒学校に一人一台端末の整備が進み、昨年度からタブレットの活用が始まりました。今年度は、自宅に持ち帰らせての取組も始まっています。また、デジタル教材やデジタル教科書の活用の流れは、これからますます進むと考えていますので、自宅に持ち帰らせたタブレットの活用方法は、学校としての使用時間の目安に関する指導は必要だと思います。校内で検討するとともに教育委員会とも協議を進めたいと思っております。いずれにせよ、家庭での使用については保護者の協力も必要ですので、よろしく願いいたします。

○授業中騒がしい授業やクラスメイトへの暴言があると聞く。大変心配です。生徒指導を強化してほしい。

⇒これまでの学校生活で課題がでたこともあります。しかし、今の生徒の状況を見たとき、課題が広がっているかと言えば、決してそうではないと考えています。生徒も一人一人が成長しています。もちろん教員も良い環境で授業ができるよう取り組んでいます。もしご心配な点がありましたら、ぜひご相談ください。保護者の心配な気持ちは理解したうえで、全教職員で対応していきたいと思っております。

○校則について見直しを検討してはどうか？黒タイツ、靴下他…。校則の意義や役割等を子どもたちがきちんと理解できる言葉で説明してもらえる機会がもっとあってほしい。

⇒校則に関するご意見が複数ありました。時代と共に変えるべき点は変えていくことは必要だと私も思います。女子の黒タイツなどは、校内で確認し認めるようにしましたが、校則全般について生徒、保護者と一定のコンセンサス（合意）も必要かと思っております。意見を交換する場を設けること、また、生徒自身にも考えさせる場を持つことを来年度は考えていきたいと思っております。また、女子もズボンを履けるように制服そのものを見直す動きもあり、制服改定になると何年かの議論も必要です。学校としては、ここはきちんと守らせたいということもありますので、今後の取組の中でぜひ前向きなご意見をください。

○発達障害等への理解について

⇒特別支援教育の視点で、学校の支援や指導の充実がこれまで以上に求められています。教員自身の指導観も問い直すことがあるケースもあり、継続して校内でも指導力向上にあたりたいと思っております。もし、気になることがあれば、ぜひ相談に来てください。直接話す（対話する）ことが一番だと私は考えています。

紙面では全て紹介できませんが、頂いたご意見は職員と共有し次年度に向けた資料としたこととさせていただきます。今後ともよろしく願いいたします。